

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月26日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スペースシャワーネットワーク  
 コード番号 4838 URL <http://www.spaceshower.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 長谷川 裕朗

TEL 03-3585-3242

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,843	6.3	69	717.2	74	352.1	36	
24年3月期第1四半期	2,674	1.3	8	64.8	16	48.8	12	

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 36百万円 ( %) 24年3月期第1四半期 13百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	342.34	
24年3月期第1四半期	121.42	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,332	3,612	57.0
24年3月期	6,606	3,669	55.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,612百万円 24年3月期 3,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		875.00	875.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		0.00		875.00	875.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,466	1.7	114	345.8	126	228.4	57		540.61
通期	11,204	1.7	283		301	615.9	153	92.4	1,431.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	106,908 株	24年3月期	106,908 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	株	24年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	106,908 株	24年3月期1Q	106,908 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金による自動車販売の伸びなど堅調な内需に支えられて明るい兆しが見え始めてはいるものの、欧州債務危機の長期化や新興国経済の減速といったリスクが引き続きくすぶっており、景気の先行きはいまだ不透明で予断を許さない状況でありました。

こうした中、当社グループでは、平成23年10月に実施した連結子会社2社との経営統合をより実効的なものにし、当連結会計年度の当社グループ経営方針である「業績水準の安定的回復」と「放送外事業の黒字成長構造への転換」を実現するために、平成24年4月に部門組織を改編し、責任体制の明確化を図るとともに、これまで以上にきめ細やかな経営管理を実施すべく、業務管理体制の見直しにも着手いたしました。

この結果、売上高は2,843,306千円と前年同期比169,056千円増（同6.3%増）となりました。これに伴い、営業利益は69,289千円と前年同期比60,810千円増（同717.2%増）、経常利益は74,640千円と前年同期比58,129千円増（同352.1%増）となりました。また、四半期純利益は36,598千円となり、損失計上した前年同期と比べ49,579千円改善いたしました。

#### ①音楽事業

有料放送の番組視聴可能世帯数につきましては、「スペースシャワーTV」が844万6千世帯、「100%ヒッツ！スペースシャワーTVプラス」が292万5千世帯となりました。有料放送収入は前年同期比微増したものの、レコードメーカーからの広告出稿が前年度水準を下回ったため、当第1四半期連結累計期間における放送関連収益は前年同期並みの結果となりました。ディストリビューション関連では、デジタル音楽配信がフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行に伴い減少傾向にあるものの、CDパッケージの受託流通売上は好調な新譜タイトルにも支えられ前年同期実績を大きく上回って推移いたしました。また、それ以外では、震災の影響で前年同期に営業損失を計上したライブハウスの黒字化、同じく騒音被害により前年同期に営業損失を計上したスタジオ事業からの撤退、及び前年同期に発生した子会社の事務所移転に絡む一過性費用の減少などの要素がありました。

この結果、売上高は2,548,681千円と前年同期比72,692千円増（同2.9%増）となりました。経常利益（セグメント利益）につきましては、56,954千円と前年同期比35,772千円増（同168.9%増）となりました。

#### ②映像制作事業

当事業につきましては、前年同期は東日本大震災の影響により売上が一時的に大きく落ち込んだものの、当第1四半期連結累計期間は好調に推移しているため、売上高は294,625千円と、前年同期比96,364千円増（同48.6%増）と大幅な増収となりました。この結果、経常損益（セグメント損益）は、17,928千円となり、損失計上した前年同期と比べ24,510千円改善いたしました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分変更をしており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント区分変更後の数値によっております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等 II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に流動資産その他が219,285千円増加し、一方で現金及び預金が408,777千円、受取手形及び売掛金が44,621千円、固定資産繰延税金資産が16,903千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ273,432千円減少し、6,332,829千円となりました。

負債につきましては、主に預り金が35,230千円増加し、一方で買掛金が139,973千円、未払金が81,606千円、賞与引当金が49,815千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ216,231千円減少し、2,720,096千円となりました。また、純資産は利益剰余金が56,945千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ57,200千円減少し、3,612,733千円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通り推移しており、平成24年4月26日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,727,832	2,319,055
受取手形及び売掛金	1,523,690	1,479,069
商品及び製品	208,234	216,152
仕掛品	108,979	121,569
原材料及び貯蔵品	5,333	958
未収還付法人税等	80,628	72,716
繰延税金資産	125,152	113,897
その他	180,620	399,905
貸倒引当金	△62,173	△64,007
流動資産合計	4,898,298	4,659,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	592,293	546,097
機械装置及び運搬具	23,475	23,475
工具、器具及び備品	354,486	343,353
土地	195,864	195,864
リース資産	455,071	455,071
建設仮勘定	—	15,200
減価償却累計額及び減損損失累計額	△873,237	△843,152
有形固定資産合計	747,954	735,910
無形固定資産		
のれん	39,639	26,426
ソフトウェア	131,632	136,988
リース資産	38,737	34,492
その他	47,172	49,851
無形固定資産合計	257,182	247,758
投資その他の資産		
投資有価証券	5,634	13,379
敷金及び保証金	312,350	308,486
繰延税金資産	330,661	313,758
その他	69,916	69,925
貸倒引当金	△15,735	△15,705
投資その他の資産合計	702,827	689,844
固定資産合計	1,707,963	1,673,513
資産合計	6,606,262	6,332,829

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,092,962	952,989
リース債務	84,150	83,614
未払金	307,493	225,886
未払法人税等	21,420	15,033
預り金	443,376	478,606
賞与引当金	91,351	41,535
役員賞与引当金	3,882	1,136
返品調整引当金	71,575	81,558
売上割戻引当金	1,460	1,148
その他	22,899	41,452
流動負債合計	2,140,572	1,922,961
固定負債		
リース債務	268,759	248,318
退職給付引当金	426,645	441,745
役員退職慰労引当金	93,702	99,973
その他	6,647	7,097
固定負債合計	795,756	797,135
負債合計	2,936,328	2,720,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,059	1,789,059
資本剰余金	846,059	846,059
利益剰余金	1,035,159	978,213
株主資本合計	3,670,277	3,613,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△343	△598
その他の包括利益累計額合計	△343	△598
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,669,934	3,612,733
負債純資産合計	6,606,262	6,332,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,674,250	2,843,306
売上原価	1,979,811	2,149,600
売上総利益	694,438	693,705
返品調整引当金繰入額	5,087	9,983
差引売上総利益	689,350	683,722
販売費及び一般管理費	680,871	614,433
営業利益	8,479	69,289
営業外収益		
受取利息	150	63
受取配当金	49	40
受取賃貸料	1,290	990
業務受託手数料	—	1,850
諸預り金戻入益	2,459	2,275
雑収入	7,059	1,977
営業外収益合計	11,009	7,196
営業外費用		
支払利息	2,738	1,845
その他	239	—
営業外費用合計	2,978	1,845
経常利益	16,510	74,640
特別利益		
固定資産売却益	—	15
特別利益合計	—	15
特別損失		
固定資産除却損	360	659
固定資産売却損	—	71
災害見舞金等	2,151	—
特別損失合計	2,511	731
税金等調整前四半期純利益	13,998	73,924
法人税、住民税及び事業税	1,831	9,166
法人税等調整額	25,147	28,158
法人税等合計	26,979	37,325
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△12,980	36,598
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,980	36,598

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△12,980	36,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△250	△255
その他の包括利益合計	△250	△255
四半期包括利益	△13,231	36,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,231	36,343
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,475,989	198,261	2,674,250	—	2,674,250
セグメント間の内部売上高又は振替 高	—	1,510	1,510	△1,510	—
計	2,475,989	199,771	2,675,760	△1,510	2,674,250
セグメント利益(△損失)	21,181	△6,582	14,599	1,911	16,510

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去1,911千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	音楽事業	映像制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,548,681	294,625	2,843,306	—	2,843,306
セグメント間の内部売上高又は振替 高	200	6,021	6,221	△6,221	—
計	2,548,881	300,646	2,849,528	△6,221	2,843,306
セグメント利益(△損失)	56,954	17,928	74,882	△242	74,640

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△242千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成23年10月1日付けで、グループ内における重複機能の効率化に加え、連結子会社に分散していた放送外事業の人材やノウハウを再編し、諸機能の横断的連携によりグループ力を最大限発揮できる組織体制に移行させることを目的として、連結子会社2社を全事業譲受により経営統合いたしました。

この経営統合に伴い、当社は今後、音楽コンテンツを核に「放送関連」、「音楽ソフト」という従来のセグメントの枠組みを超えて事業を展開し、収益の獲得、費用の計上、及び資源の配分を行って参りますので、当第1四半期累計期間より、これら2セグメントを「音楽事業」として統合いたしました。また、「映像制作」については「映像制作事業」へ変更しておりますが、当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はございません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間のセグメント区分に合わせて作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。